

「国民の森林」^{もり}としての取り組みについて

三陸北部森林管理署久慈支署 河津 英世

1. まえがき

現在、国有林野の管理経営にあたっては、国有林野を「国民の森林」として位置づけ、国民に開かれた管理経営を推進しています。

その取り組みの中には、森林環境教育の推進、森林の整備・保全への国民参加、そしてこれらを広く国民にPRし双方向の情報受発信による対話型の取り組みを目指した国有林モニターやアンケートによる意見収集といったものが含まれています。

これらの取り組みは当支署においても実施されておりますが、今後、現在の取り組みから、さらなる理解と協力を得るために、これまでの成果や課題を把握し、既存の取り組みの改善や新たな取り組みの考案へ繋げる必要があると考えました。

2. 取り組み紹介と実態把握

◎「遊々の森」での森林教室の現状

遊々の森での森林教室は、久慈市が受け入れた地元及び首都圏等の学生を主な対象として行っている「グリーン・エコツーリズム体験学習」の一部として行っているもので、学習のプログラム内容に応じて職員をインストラクターとして派遣しています。

○問題点や課題

インストラクター派遣要請に応えられるよう、人材の育成が必要であると考えています。



【 除伐体験の様子 】



【 森林散策の様子 】

◎「くじ・川の会」との森林教室の現状

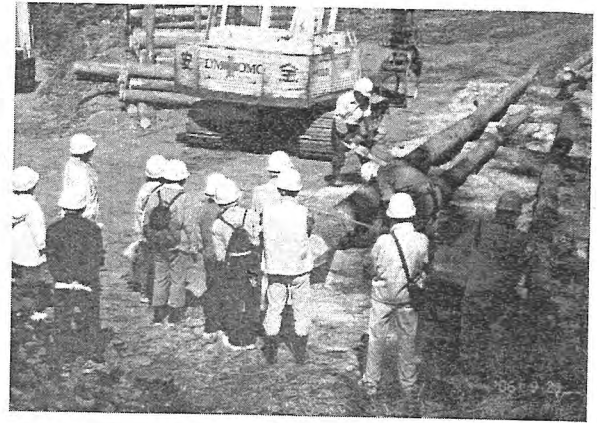
川の会との森林教室は、平成8年より春・秋の年二回実施しているもので、当初は同会との間で森林の伐採と川・海の荒廃との関連について、認識の相違がありましたが、長年の実施により森林・林業への理解が深まっています。

○問題点や課題

課題としては、最初の実施から10年以上経過していることもあり、実施内容の固定化が見られるため、実施内容の工夫が必要であると考えています。



【 森林教室の様子 】



【 生産現場見学の様子 】

◎「植樹祭」の現状

昨年までは当支署独自で行っていたものを、今年度からは久慈地方振興局との共催として行い、地元で林業を専攻している高校生を植樹実習の場として招いて実施しました。当支署独自の取り組みから、共催での取り組みとしたことで、他団体との連携した取り組みの拡大に繋がりました。

○問題点や課題

参加者が関係団体と近隣の学生に限られているため、より広く一般の方が参加できるような取り組みの工夫が必要であると考えています。



【 スギ苗木の植樹 】



【 植樹祭に参加した地元高校生 】

◎「侍浜アカマツ保護林周辺の清掃活動」の現状

この保護林は住宅地に隣接し、従来より地元住民により清掃活動等が行われておりました。このことに着目し、地元住民と国有林野事業との連携した取り組みとして、「協働による清掃活動」を各関係団体等を巻き込みながら昨年度より実施しているものです。

今年度は延べ45名の地元住民や関係団体、ボランティアの方々が参加して実施しました。

○問題点や課題

若い世代の参加者が少ないことから「若年層を交えた取り組みの展開」が必要であると考えています。



【 保護林内の侍浜アカマツ 】

**国民の森林をクリーンに
侍浜町の地区民らが美化活動**

三浦北部森林管理署
久慈支署(山田事務所
口までの約3.5km、Bコ
内侍浜町の北野山頂有
林とその周辺道での環
境美化活動を行った。
町内の鳥飼、唐切、
本町などの各町内会や
森林関係者ら約六十人
が参加、畑切青少年会
館に集合して打合せを
し、道に散らばるゴミな
どを拾い集めた。

同合頭を起点に、A
口までの約3.5km、Bコ
までは、侍浜中学校前
までの約3.5km、あいに
く、当日は雨に見舞わ
れ、参加者は雨ガッパ
を羽織つての汗かく、
それぞれ持参した袋に
道端に落ちていた空き
缶、ペットボトル、ご
みなどを拾い集めて
分別した。

同地区には、貴重な
「侍浜アカマツ」の系統を
くむ「侍浜マツ保護林

と隣接林が共生し、巨木を育む森として散
特にも「侍浜マツ」は、環境も整備され、周辺
昭和四十八年五月に、環境が大いに保護され
特別保護林に指定されている。

地区町内会や森林関係者らが道ばたのゴミ拾い。

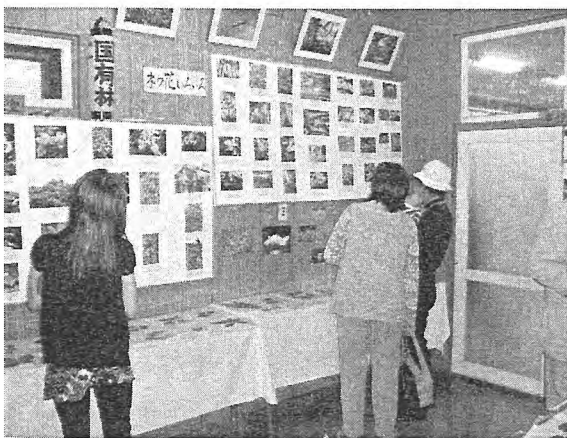
【 地元新聞の掲載記事 】

◎「久慈の自然と森のキノコ展」の現状

これは今年度より新たに実施したもので、当支署の玄関ホールを利用し、国有林のPRと併せて、森林・林業に対する関心を高めてもらおうと約百種類のキノコを中心に、管内の動植物や当支署開催のイベント写真等を展示しました。5日間の平日開催でしたがマスコミへの情報提供の効果もあり、約200名の方が訪れました。また、来場者へはアンケートをお願いし、森林や国有林についての意見収集の場ともなりました。

○問題点や課題

マスコミへの情報提供が遅れ、期間の後半に来場者が集中したため、早めの情報提供が大切であり、また、アンケートにより様々な意見・要望が把握できましたが、より詳細な意見が把握できるような工夫が必要であったと考えています。



【 キノコ展の様子 】



【 地元高校生来場時の様子 】

なお、久慈の自然と森のキノコ展で実施したアンケートの内容については一部抜粋して以下のとおり紹介します。

『アンケート調査結果』（一部抜粋）

Q. このイベントをどこで知りましたか？

A. 新聞(62%) 役場の広報(25%) 知人から(13%)

Q. 当支署開催の他のイベントを知っていますか？

A. 知っている(15%) 知らない(85%)

Q. 国有林に期待すること、して欲しい事はありますか？

A. ある(42%) ない(58%)

「ある」
内訳

・伐採しないで森林保護を(17%) ・動植物教えて(9%)

・森林散策、キノコ狩り等の企画(8%) ・その他(8%)

Q. 今回のイベント感想はどうでしたか？

A. 面白かった(92%) どちらでもない(8%) つまらなかった(0%)

3. 考 察

◎各種取り組みの現状と成果

「植樹祭」や「保護林周辺の清掃活動」において「他団体との連携した取り組み」の拡大がされており、「くじ・川の会との森林教室」では森林・林業への理解が深まっていると共に「参加者拡大に向けた取り組み」を推進しています。また、新たに企画した「久慈の自然と森のキノコ展」では、併せて行った「アンケート調査」により、一部の意見ではありますが意見・要望を把握でき、今後の取り組みを考える上で大変参考になりました。

○全体としての問題点や課題

「これまでの取り組みがあまり認知されていないこと」や「国有林野事業が正しく理解されていないこと」等が分かったため、PRとその方法についても考える必要があります。

また、「イベントの継続開催や新たなイベントの実施を望む意見」が多数見られたことから、これらの取り組みに対する要望が高いことが分かり、要望に応えられる様、取り組みを考える必要があります。そして、これらの課題は今回はじめて行った「アンケート調査」により得られたものであり、これまでの取り組みの中では、十分に「意見・要望の把握」が出来ていなかったものと思われます。

◎今後の方針

以上の結果を踏まえ、今後は各種取り組みの課題解消を目指すと共に、意見収集の取り組み拡大や、意見・要望を反映した取り組みの実施に向け努力したいと考えています。

また、今回の研究から「国民の森林」としての取り組みを考える上で「地域住民の意見・要望の正確な把握」が最も重要であると考え、現在の意見収集の取り組み拡大には「ホームページを活用した取り組みの拡大」が有効だと考え、「インターネット上でのアンケート調査の実施」や「掲示板の設置による意見交換の場の拡大」を考えました。

今後の
方針

- ・ 各種取り組みの課題解消
- ・ 意見収集の取り組み拡大
- ・ 意見、要望を反映した取り組みの実施

『 地域住民の意見・要望の正確な把握が重要 』

《 現在の国有林の「意見収集の取り組み」 》

内容

- ・ 主にアンケートや国有林モニターにより実施

現状

- ・ 参加者意見のみで収集対象が限られている
- ・ 広い世代の意見収集が難しい

◇ より多くの意見把握を目指した取り組み ◇

『 ホームページを活用した取り組みの拡大 』

内容

- ・ インターネット上でのアンケート調査の実施
- ・ 「掲示板」の設置による意見交換の場拡大

利
点
と
効
果

- ・ 意見収集の場の拡大
- ・ 誰でも意見等を情報として発信可能
- ・ 現在のメール方式より活発な意見交換
- ・ 官と民だけでなく民と民との意見交換の場へ

『 双方向の情報受発信による対話型の取り組み 』 実現へ

これらの取り組みの実現や効果を発揮するまでには課題も多いですが、今後はより広い範囲へ意見収集の場を広げ、より多くの意見・要望を把握することが必要です。

そして、これらの取り組みの実現は冒頭に申し上げた「双方向の情報受発信による対話型の取り組み」の更なる充実へとも繋がるものであると考えています。

最後になりますが、今後とも地域住民の意見の正確な把握や、それらを反映した取り組みの実施を通じて、国有林が真の意味での「国民の森林」となれる様、取り組んでいきたいと思っております。